

## 『長引くコロナ禍で、女性たちの暮らしを直撃しているが』



総務産業常任委員

### 境田敏高

#### まとめ

コロナ禍における「生理の貧困」については、個人の問題でなく社会全体の重要な問題として取り組むべきである。

この「生理の貧困」については、今まではタブーとは言いませんが公に語りたくない、恥ずかしいなど言いにくいものであった。

ここであえてわたくし男性が声をあげることで、ジェンダー平等、男女共同参画が今以上に進み、支援体制をしっかりと整えることを求めて質問した。

緊急車両が入ってこられないために時間を要するようでは定住に不安を抱く。道路が狭い問題は若い人たちの将来の人生設計までに影響を与える。

そこで生活している人たちを第一に考え、人が住むための町づくりをすべきである。地域の主人公は地域住民である。

昨年度から南関町過疎地域持続的発展計画が挙がっている。この中に町道や集落内道路については狭い箇所もあり、防火、防災、緊急面対策が必要となっている」と謳ってある以上早く対策をとるべきである。

#### 緊急車両が通れない道路の改良の進捗状況と対策は

10年前の平成23年度で救急車の出動は南関町全体で528件であった。搬送は434件、空搬送94件、437名の方が搬送をなされている。

令和3年では、南関町に緊急出動されたのは、447件である。どちらも急病、特に高齢者の方が多くみられるのが特徴である。

救急車両が入れない、狭い道が多いために、緊急車両の通行に時間がかかるでは町民は安心して暮らせない。

町の活性化は人が住む続けることである。現在の現状を尋ねる。

**(町長)** 令和4年3月末現在で、自動車交通不能区間(幅員2.5m未満)の路線が84路線、延べで13kmである。平成27年3月の時点とほとんど変わらない。

拡幅要望があがっているが、狭い道路の両側に家が建ち並び、拡幅する用地の確保が困難であることから、まずは離合待機場所の確保をお願いしている。



令和元年の女性の平均就労者数は2,992万人であった。

この年の12月に新型コロナウイルスが武漢から世界に感染拡大した影響で、翌年の令和2年4月には女性就労者数は70万人減少している。

育児・介護・生活困窮・非正規雇用労働者の減少や自殺者数の増加などの深刻な影響が明らかになっている。

長引くコロナ禍、経済的な理由で生理用品が買えない「生理の貧困」が全国で問題になっている。

わが町では、この生理の貧困に対して女性支援の一つとしてどのように取り組まれているのか。

また、学校生活の中でも子どもへの影響はないのか尋ねる。

**(町長)** 町独自では、生理の貧困に特化した取り組みは、現在のところ行っていない。

熊本県ひとり親家庭福祉協議会が今年の3月から4月にかけて県内のひとり親家庭会員を対象に生理用品を配付されており、南関町においても対象会員の方に配布があった。

また町社協では、住民の方の寄付により5年ほど前から生理用品を支給した。

**(教育長)** 現在、町の小中学校のトイレには生理用品の設置はせず、子供たちには保健室に来て、養護教諭と直接話をしてもらうようにしている。

もうしばらくは現状の対応で、見守っていききたい。



文教厚生常任委員  
広報常任委員

## 山口純子

### 新型コロナウイルス感染症対策と、終息後の取り組みについて

コロナ禍で様々な行事が中止となり、町の経済にも影響していると思われる。

今後の行政の実施、町内の定住活性化についてどのような方向性かを尋ねる。

**(町長)** 新型コロナウイルス感染症への感染拡大が始まり、その感染を防止するため、古小代の里陶器梅まつりは令和元年度から中止。ふるさと関所まつり及び関所健康マラソン大会においても、それぞれ令和2年度から中止。

祭り等の行事の中止により町内外からの集客やイベントへの参加がなくなり、まつり等による町の活力は低下することになった。

それを補填するため、関所まつりの代替事業としては「なんかんトップシールラリー」や「ふるさとなんかんフォトコンテスト」を実施し、地域の活性化、竹あかりを活用し町の魅力の発信を行った。

小中学校の運動会等も感染対策を図りながら開催している。

今後はまつり・各種イベント等でも新型コロナウイルス感染防止を図りつつ、住民やその参加者が安心し

### 『新型コロナウイルス感染症対策と、終息後の取り組みについて』

て参加し、南関町の歴史や文化、特産品などを町内外にアピールし町の活性化を図りたいと考える。

梅雨時期に向けて、豪雨災害の対策について、近年の豪雨災害、温暖化に伴う影響で多大な被害が全国的に起きている。崖崩れ、河川の氾濫、浸水と今想定される範囲で危機回避を検討しておられると思いますが町民の皆様の安心の為尋ねる。

**(町長)** 豪雨災害は地球温暖化の影響により数十年に一度という災害が毎年全国各地で発生している。災害は梅雨時期の集中災害と台風による風水被害であり、6月から10月に多く発生しているのが現状である。

記憶に新しい豪雨災害では、令和2年7月豪雨で総雨量1,000<sup>mm</sup>を超え、年間平均降水量の倍半分以上を推測し、多数の土砂災害や浸水被害が発生した。昨年は梅雨明け後の8月に、総雨量900<sup>mm</sup>を超える集中豪雨による災害が発生し、自然災害の恐ろしさを思い知らされた。

災害に対して「起こるであろう」という心構えを持ち、国の災害対策基本法に基づいた「南関町地域防災計画」を策定し、毎年最新の情報の更新を行い、県や陸上自衛隊、熊本地方気象台、警察、消防、九州電力、NTT、町議会、町消防団、代表区長、町執行部など多くの関係機関の皆様にご出席いただき、災害に備えた意思統一を図った。

昨年度は令和2年7月豪雨を教訓に、県が作成した1,000年一度発生するであろう大雨を想定した洪水浸水想定区域を記載した最新版の総

合防災マップ及び工区別のハザードマップを作成し、各世帯への配布を行う。

度々甚大な被害をもたらしている県河川関川では、国を災害復旧助成事業を活用し荒尾市から南関町まで約20kmの区間で令和5年頃の完成を目標に事業が進められている。

関川河川を中心に4ヶ所に河川カメラの設置を行い遠隔でも監視できる体制の構築を行う。

防災行政無線のデジタル化に伴い愛情ネット及び防災アプリ(ハザードン)での携帯電話への配信が可能となる。防災情報を優先し文字情報での発信を行う。

今後の計画では、各地域で組織されている自主防災組織の更なる防災力向上に向け、南関町防災士の会との連携を図りながら進めていく。



### まとめ

子どもたちの感染が拡大しているが、注意しながら、南関町では、経済活性化や町民の安心安全のために、万全の体制で町民に臨んでほしいと思う。

災害時は命に関わる危険な状態になる恐れがあるので、防災無線などをフルに活用しながら情報の提供や早目の避難などに全力で当たってもらいたい。

## 『中途半端な計画で町の伝統行事が様変わる!?!』

### 関川災害復旧助成事業の内容と周知について

令和2年7月豪雨による関川の氾濫で、当町においても家屋や田畑等が広範囲に浸水し、護岸が崩壊するなどの甚大な施設被害が発生。県が被災した関川の河川改修を行い、同規模の豪雨に対し、浸水家屋220戸をゼロにする災害防止を目的として、令和5年度までの4年間で行う30億5千万円の事業を指す。

竜瀬橋から老人ホーム関の郷への町道側の事業の内容と町民への周知、及び町の対応について尋ねる

**(町長)** 竜瀬橋の下流は町道に約70センチの堤防設置、引堤、河道掘削である。

松木さん宅、関の郷、渡辺畳さん宅の裏に用水路がある。防災広場の下の排水溝、防災倉庫の裏からの用水路もあり、その三方から水が集まる。その水が川に流れず、うずまいて、関の郷、渡辺畳さん宅に浸水していく。全く効果のない計画になっているが。

**(町長)** 県も苦慮されてる。今、練られている段階ではないか。次の説明会でも、お伺いしたいと考えている。

そこは全国のNHKニュースでも流れる勇壮な放水合戦が行われる場所。土手を削り、堤防を作ると全く風景が変わってしまう。このことを広く町民に知らせることが必要だ。浸水ゼロの実現可能な計

画が出来上がるまで、堤防設置は止めて、河道掘削を毎年やるのが効果的では。

**(町長)** 何よりも重いのは人の命。堤防かさ上げは計画すべきである。町民の皆さんに理解をいただきながら、考えていければと思う。

### まとめ

南関町独特の伝統・文化に配慮した町にふさわしい最善の計画になることを期待する。

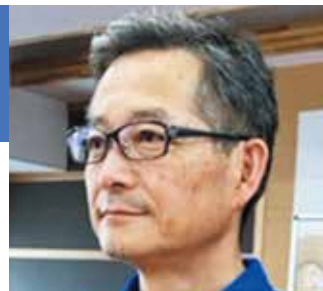


### 旧石井邸住宅整備の意義について

旧石井家住宅は、天守造りの3階建てで、三層楼と呼ばれていた。その三層楼こそが、白秋さんが生まれ、幼少期に通った石井家の姿。基本設計は2階建てである。三層楼のある旧石井邸住宅を復元すべきでは。

**(町長)** 基本設計における復元年代は、明治後期から昭和20年代末の様相である。これは、明治18年に誕生した北原白秋、白秋と親しく交流した従弟の石井了介氏の関係が伝わる時代である。

三層楼は理想だが、資料が乏しく、昭和20年代末までの姿を目標に、復元図、基本設計図面を作成した。



文教厚生常任委員長  
議会運営委員

## 北原浩一郎

類似施設の文化財であり観光施設でもある御茶屋跡について尋ねる。

**(町長)** 御茶屋跡は、平成13年、保存活用を求める請願書が提出され、議会の満場一致で可決された。管理運営を南関御茶屋跡伝楽人に業務委託し、委託料として、年間180万円、その他光熱水費、消耗品等で合計で228万円ほどの予算である。

### まとめ

石井家の人々、外目の自然や佇まいの中から生まれた北原白秋は間違いなく町ゆかりの偉人である。

石井了介氏と共にもっと親しく顕彰し、保存整備費については「ふるさと納税」を財源として、寄付者の期待に報いるためにも、町の誇り、財産としてふさわしい整備を求めていく。





広報常任委員長  
議会運営副委員長  
総務産業常任委員

## 伊藤博長

### 『担い手確保の取組みは、数値目標を設定し、地道に一人でも多く増やす、一步踏み込んだ対応を!』

資金確保等の相談、販路、住居・子育て支援等のサポートを実施。また、国・県・JA等の各相談窓口とも連携しながら担い手の確保に努めたいと考えている。

10年後、今は兼業農家で、土日しかされていない方々が、定年を迎えるに当たり、今後、こういった人々を中心経営体として迎え入れる準備をしていくという話し合いを継続していく。

#### 担い手確保の取組みについて

農業者の高齢化による離農など、今後、担い手不足の深刻化が予想される。現在の50歳未満の地区ごとの就農者数、町での担い手確保の取組みについて尋ねる。

**(町長)** 現在、町の50才未満の地区毎の就農者数は、人・農地プランの資料では、南関地区が6名、賢木地区が8名、大原地区が7名、坂下・四ツ原地区が6名の計28名で、全体の28.6%である。

10年以内にリタイアする農家が約8割、地域の担い手は約3割と、高齢化による離農と担い手不足は非常に深刻化している。将来的に後継者がいないままリタイアしていく農業者の中には、優れた経営者の方々が多く、これらの経営がなくなることは地域農業の維持・発展にも大きな課題となっている。

課題解決を図るため、地域の話合いにより、5年後、10年後の地域の人・農地について、座談会等を継続的に実施していくことが必要不可欠である。

座談会では、地域の方々、農業関係者、農業委員会、JA、町など、地域農業に関わりのある多くの関係者が一体となって、将来の地域農業の方向性を推進する体制をつくり、将来方針の作成を行い、担い手の確保等について話し合っていくことが大切である。

町での担い手確保の取組み状況として、新規就農に向けた相談を随時受け付けており、各関係機関並びに農業普及指導員による営農指導や、関係各所との連携を図り、研修、農地及び機械・

この質問をやる時に、経済課のほうに南関町の専業農家と兼業農家の年代別分布を聞きに行ったが、最初はないと言われた。あるとすれば、令和2年1月に実施した人・農地プランのアンケートを集計すれば、作成出来ると。

そもそも、現在の南関町の専業農家、兼業農家の人数を把握もせずに、町での担い手の確保の取組ができるとは思わない。

数値があると分析ができ、目標を設定できる。とても重要なことだと思う。この件について尋ねる。

**(町長)** 専業農家、兼業農家の把握が、出来ていなかったのは実情である。ただ、農業センサスとか、今までは利用していた。

今回は、人・農地プランの実質化ということで、国から示された案件について、アンケート調査を行って、実情がはっきりので、数字のほうを提示している。

今年1月に実質化された人・農地プランが作成された。

中心経営体の農地集積化に関する方針の中に、「今後中心経営になりうる担い手育成及び他地域からの入り作などを行い、新たな中心経営体の確保を行っていく。

また、将来的に集落営農組織の設立も視野に入れていく」と書かれている。

担い手がない中で、話し合いをやって、実現できないと思うが、どうやって実現するのか。

**(経済課長)** この実質化された、人・農地プランに基づいて、今後、協議や話し合いを行いながら、その地域に合った、担い手の確保を行っていくとなっている。

実質その地域の方々、5年後

地域での話し合いも重要だが、担い手を一人でも多く増やす、地道な取組みが必要だと思う。

例えば、

- ・新規就農の相談があったら、単に対応するだけではなく、他自治体と比較して、南関町で農業をやることの優位性を示したり。

- ・農業大学校等の生徒さんに「南関町で農業をやりませんか」と積極的に働きかけたり。

- ・高齢で、リタイアしそうな農家についても、探し出して相談に乗って、新規就農を志す若者とマッチングさせたり。

そういった一步踏み込んだ取組みが必要で、将来、そういう姿勢で地道にやっている自治体と、そうでない自治体では大きな差が出てくると思う。

#### 不法投棄の現状と対応策

町での不法投棄の現状と対応策について尋ねる。

**(町長)** 本町の不法投棄の現状は、年間5件～10件程度ある。

投棄物のほとんどは家庭ごみで、関係機関（警察、県保健所）と連携を取り処理している。

対策は、不法投棄防止の看板及び監視カメラ等を必要と思われる箇所に設置するとともに、不法投棄防止監視員を8名の方に委嘱し、担当区域を設定し、町内の状況を巡回していただき、不法投棄の未然防止及び早期発見に寄与していただいている。

不法投棄されるとその後の処理が大変になる。不法投棄された現場には、積極的な看板や監視カメラの設置等の検討が必要で、今後も継続的な対応をお願いする。

杉村『企業誘致と新設工業団地の現状状況について』  
町長『新しい企業の南関町への進出は減少している』



総務産業常任委員長  
議会運営委員  
有明広域行政事務組合議員

杉村博明

「企業誘致と新設工業団地の現状状況について」南関町では、近年企業の誘致と新しい工業団地の開発が進んでいないが現状はどのように進めているのか問う。

また、県内において工業団地の開発が進んでいるが、どう思うか尋ねる。

**(町長)** 企業誘致の現状について直近では、新しい企業の南関町への進出は減少しているが、今年の4月には、富士ダイス株式会社において、投資額18億円の合金素材を製造するための冶金棟の新設についての協定を蒲島知事立ち合いの下に熊本県庁で行った。

また、株式会社荏原製作所においては、生産能力1.5倍以上に拡大するために2024年6月竣工を目標とした新工場の増設が計画されており、それらの事業の拡大により町の活性化が図られると大きな期待をしている。

また、「県内において工業団地の開発が進んでいるがどう思うか尋ねる」については、先日の新聞記事に、半導体関連企業の集積を考慮した熊本県の工業団地が菊池市と合志市に整備され2026年の分譲開始を目指すこととされている。

また、近隣では玉名市で民間事業者が産業団地を整備し、市はそのインフラ整備への補助や固定資産税の免除の優遇措置を図るというものである。



多額の財源を投資し、新しく工業団地を整備することで、新たな企業を誘致するというのも企業誘致ではあるが、それ以前に現在町内で事業をされている企業の皆様と情報を密にし、企業に寄り添い工場等の規模拡大を計画される際は、そのタイミングを逃さず、町として出来る限りの支援を行うことで実現を図ることも重要であると考えます。

このような企業誘致活動は、南関町に一番合った町の特色を活かした企業誘致の手段であると思っている。

企業が積極的に動いておられる時が最大のチャンスでもあり、必要不可欠と思われる民間事業者との連携により、新しい工業団地の整備もしっかりとした準備をして計画を進めることが出来ればと考えている。



町長から南関町の工場の増設についてありましたが、増設については、前にも話したが増設は企業努力であり、町が特に誘致して行われたのではなく町が支援するのは当然である。増設に関しては既存の会社が努力された結果である。

町が新規に新しく町外から誘致し持ってきた企業が少ないと思うが、ここ近年で現町長（3期目）ということであるが、この期間内で佐藤町長が新規に誘致して持ってこられた企業はどれだけあるか。

**(まちづくり課長)** 佐藤町長が町長になり、新設についてはバンブー関係と熊本県民いい国発電所、バンブーが破産譲渡後にモリショウグループと現在、松川運輸トラックターミナルが造成されている。

むすび

企業誘致については、佐藤町長（3期目）であるが、1期目当初からトップセールスと言いながら、新規の企業誘致が少なく思うのは私だけだろうか。

既存企業の増設は、企業努力であり町が支援するのは当然のことであり、それを誘致したような言い方はどうだろうか。

もっと担当職員が県庁企業立地課へ出向き、情報収集などに努め、からぶりを恐れず顔出しも必要で毎月県庁企業立地課へ出張することを望む。



# 生の声を聴く

## 音楽ピクニック in 宮尾 実行委員会

## & 広報委員



**議員** ずいぶん昔に音楽ピクニック in 宮尾は開催されておりましたが、今回から音楽だけではなくマルシェを融合し、規模を拡大したまったく違う形での取り組みになりますね。今年のイベントの日程と音楽の出演者、マルシェの出店内容を具体的に教えてください。

- **日程：2022年10月2日（日曜日）**
  - マルシェ：10時30分～15時30分
  - ライブ：11時30分～16時
- **場所：古小代の里公園一帯**  
なお、雨天の場合 うから館での開催

- マルシェ出店14店舗で、地元南関の企業、商店及び生産者が主体となり、玉名、荒尾、大牟田からも参加。食、体験、アロマ、似顔絵などを楽しめます。
- 音楽ライブでは、南関、玉名、福岡、北九州からプロ、アマチュアのミュージシャン6バンドが集まり、アイリッシュ、ゴスペル、フォーク、ロックのコピーやオリジナルの楽曲を楽しめます。
- 南関中学校の吹奏楽部がオープニングを飾り、なんかんトッパ丸も参戦決定

**議員** 今回、音楽やマルシェで、町外からたくさん参加されますが、どのようにすればこのような輪が広がるのでしょうか。

私はお店を経営しています。その中で、お客様とよくお話をします。こだわった物作り、その思い・・・、色んなところで共通するところがあります。そんな方達とのご縁を大切にしています。

**議員** 町外のみなさんが参加されておりますが、南関町は町外からどのように見えますか。

- 地域を心から思って活動されている、ステキな人が多いイメージです。
- 自然が豊かで、交通の便はいいと思います。
- 山鹿から自転車で南関高校に通いましたが、街灯がほとんどありませんでした。今もないです。(^^)

**議員** 自然が豊かということですかね。

**議員** この組織の目的は何でしょうか？

南関町の宮尾地区は、熊本県指定の文化財である小代焼窯跡群があり、窯元が集まる自然豊かな地域であります。

この宮尾地区に、人を集め周知する手段として「音楽ピクニック in 宮尾」を企画しました。



実行委員会

**議員** この組織を作ろうとした動機を教えてください。

南関町では、宮尾地区の自然豊かな環境に加え、陶器の里である理由から毎年3月に古小代の里公園で『陶器・梅まつり』が開催されてきました。多くの来場者で賑っていましたが、今年度から会場が新庁舎の広場に移ることになった（今年中止となった）。会場移転により、宮尾地区に人が集まることなくなり、せっかくの恵まれた自然や窯元が集まる貴重な資源を生かすことなく寂れてしまう心配があります。「この地域に人を集めたい！」この地域の賑わいと活性化、そして事業者や音楽愛好家の交流の場を提供することが、南関町の活性化につながるのではとの想いで、音楽とマルシェをひとつにした音楽ピクニック in 宮尾を企画しました。

南関町はこうなってほしいということがありましたら、教えてください。

- 「うから館」の利用はほぼ町内の方が教室等に使用されているようです。大会議室から小会議室、大広間まで整った施設はほかにないと思います。町内だけではなく、町外の方にも広く利用出来るように南関町ホームページ等に掲載して、施設が、どのような事に使えるかを、わかりやすい説明があれば問い合わせもあると思います。
  - 町外の方から、南関町はただの通過点となっている。南関町がどんな所で、何があるのか知らない。南関町の魅力を官民一体となって発信し、南関町を目的として訪問してもらえるようになってほしい。
  - 今回マルシェの補助金を活用したいと思いますが、町からマルシェのイベントへの補助金であり、音楽イベントに対する補助金ではないと言われました。
- 交流人口を増やすこのようなイベントでは、マルシェだけでは盛り上がりせず、音楽のライブと合わせて相乗効果が出ると思います。そのへんは柔軟に考える必要があるということで、ご理解いただきました。



古小代の里公園の登り窯

将来この組織がどのように発展してほしいですか。

- この実行委員会の趣旨に賛同し、南関町を盛り上げたいと思って一緒に活動してくれる方を募り、様々な意見を取り上げて来場者や参加者が一緒になって楽しめる催しとしたい。
- 「音楽ピクニック in 宮尾」は宮尾で毎年開催する行事として、その情報をSNS等で発信し、地元の方のみならず、他県の方からも宮尾に足を運んで頂けるよう内容を構築したい。
- 地域に活力を与えるいい取り組みだと思います。1000人集まるイベントを1回やるより、100人集まるイベントを10回やるほうがいい。地道に継続することが大切です。



音楽ピクニック in 宮尾 実行委員会のみなさん  
後列左から

似顔絵アーティスト JERO さん、  
Kapok1215 長山の中島政彦さん（副委員長）  
Kapok1215 宮尾の勝田寿寛さん（委員長）  
ヤマチク 久重の山崎彰悟さん  
農業 宮尾の古澤公啓さん  
風楽 久重の伊藤博長さん

前列左から

にじのあとりえ 岡林亨代さん  
Kapok1215 宮尾の古澤由希さん  
石窯 PizzaKapok 宮尾の勝田早苗さん  
ゴスペルクワイヤー 荒巻あゆみさん  
Orange plus 前田則子さん



「生の声を聴く」を終えて・・・

委員長ご夫妻が最年長で、年齢層が広く、町内町外からのメンバーが集い、話していて楽しい活気あふれる会でした。

宮尾地区は、自然に恵まれ、立派な神社があり、窯元が集まり貴重な観光資源がたくさんある地区です。このイベントを通して、地域の良さをアピールして、交流人口を増やしてほしいものです。

今年度町では、このような地域を元気にする活動などに対し、住民提案型事業やマルシェ事業の補助金を実施しております。これを起爆剤として、いろんなグループができ、継続することで町が活気づくことを期待しております。

議会だよりの「生の声を聴く」コーナーでは、住民提案型事業やマルシェ事業補助金を活用して生まれる新しいグループを紹介したいと思っております。

我々も町民として、そして議員として出来る力を併せて応援していきます。

広報常任委員会

南関中3年 <sup>すが はら かな</sup> 菅原 和菜 さん



南関町に住む18才未満の人たちに、町の未来を語ってもらうコーナーです。

## 私が考える、南関町の未来

私は、南関町がこれからどんどん発展していったほしいと思います。  
 南関町は自然が豊かで水もきれいです。そして様々な行事や祭りも多く行われています。このように南関町にはたくさん良いところがあります。私はこの南関町の良いところを、もっとのびしていきたいです。  
 そのために私ができることは、毎日掃除や地域のボランティアに参加することです。掃除では、自然環境を守ったり、皆が暮らしやすい場所をつくらしたりすることができます。そして、地域の行事やボランティアに参加をすることで、多くの人と交流を深め、地域の伝統行事をつないでいくことができます。私は南関町のよいところをのびし、活性化していくために、この二つのことをがんばりたいです。  
 これからの南関町がどんどん発展していき、「今よりもっと暮らしやすい町になったらいいなあ」と思います。また、出来る事、出来ない事は限られているので、出来る事を見つけていきたいです。

## 議会傍聴しませんか

6月定例議会の傍聴人数はのべ12人でした。  
 7日：5人、8日：5人、10日：2人

定例議会は、年に4回・・・3月、6月、9月、12月に開催。 ●どなたでも傍聴できます。 ●定員 30人

## 議 会 日 誌

- 4月
  - ・4月13日(水) 広報常任委員会
  - ・4月14日(木) 総務産業常任委員会  
文教厚生常任委員会
  - ・4月20日(水) 広報常任委員会
  - ・4月21日(木) 全員協議会  
議会運営委員会
  - ・4月27日(水) 広報常任委員会
- 5月
  - ・5月12日(木) 総務産業常任委員会  
文教厚生常任委員会
  - ・5月24日(火) 全員協議会
  - ・5月27日(金) 議会運営委員会
- 6月
  - ・6月7日(火) 第5回定例会
  - ・6月8日(水) 第5回定例会  
全員協議会  
文教厚生常任委員会  
総務産業常任委員会  
広報常任委員会
  - ・6月10日(金) 第5回定例会  
広報常任委員会  
議会運営委員会
  - ・6月30日(木) 広報常任委員会

## テーブルイク



### 異常気象

熊本県を含む九州北部地方梅雨入りしたのが、6月11日、梅雨明けの発表が6月28日と統計開始以降もっとも早く6月中は初めての発表となりました。  
 早すぎた梅雨明け、梅雨期間が短く降水量は少なめ熊本県内初めて6月中に梅雨明け、最短のわずか17日間とほっとする一方で今度は、水不足、そして暑さに注意が必要です。  
 今年の夏は、記録に残る暑さとなった埼玉県熊谷の41.1℃まで気温が上昇と2018年の気象に似た現象と言われています。ゲリラ豪雨、線状降水帯・大型台風等注視しなければなりません。  
 コロナも増加傾向にあり、この夏、特に熱中症対策が必要です。熱中症予防・対策には、暑さに負けない体作りが大切です。  
 日常的な運動をおこない適切な食事、十分な睡眠をとるようにしましょう。(矢野修一)



□発行責任者 議長 立山 秀喜  
 □編集(広報常任委員会) 委員長 伊藤 博長 副委員長 矢野 修一  
 委員 山口 純子 委員 福山 美佳